

令和元年度 施策評価表

施策	2003	ごみの減量化と適正処理の推進	施策担当部等	市民環境部	部長	杉野 幸夫
			施策担当課等	環境センター	課長	荒木 良也
施策の方針	ごみの減量化を推進するとともに、不法投棄の防止やごみ処理施設の安定的な運営などにより、廃棄物の適正な処理を推進する。					

【DO（実施）】
基本計画における目標値

指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	R1目標値	R2目標値	H30年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	R1実績値	R2実績値	達成率	進捗率
① 家庭系ごみ一人一日当たりの排出量（資源物を除く）	g	513	508 511	505 518	502 522	499	497	96.2%	95.2%
② 不法投棄年間回収量（可燃物・不燃物）	k g	9,424	9,100 12,664.0	9,100 6,663	9,100 5,363	9,100	9,100	169.7%	169.7%
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明	
①	人口増に伴い、可燃物の排出量が微増し（前年度比0.5%の増）、不燃物の排出量も増加傾向（前年度比11.0%の増）にあることから、目標達成には至らなかった。
②	可燃物、不燃物ともに回収量が減少しており（対前年度増減率19.5%の減）、目標を達成することができた。

施策経費

（単位：千円）		H30年度 決算	R1年度 予算	R2年度 見込	特記事項
内訳	事業費	757,233	836,248	996,372	
	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	4,900	28,500	5,600	
	その他	199,348	154,234	195,083	
	一般財源	552,985	653,514	795,689	
	人件費	191,003	191,900	-	
フルコスト	948,236	1,028,148	-		

施策の概要

200301	ごみの減量化の推進	ごみの減量化を促進するため、3R運動の普及啓発を行い、行政・市民・事業者の連携による取組を推進します。 また、リサイクル製品の優先的な購入を行うとともに、市民や事業者に対し、リサイクル製品等の利用促進に関する情報発信や普及啓発を推進します。 さらに、家庭から出る使用済み食用油を回収し、バイオディーゼル燃料としてリサイクルを行います。
200302	廃棄物の適正処理の推進	不法投棄や野外焼却などを防止するため、周知啓発やパトロールを行います。 また、産業廃棄物については、事業者の責任において適正処理を行うよう、県と連携して指導します。 ごみ処理施設については、適正な維持管理に努め、安定的で効率的な廃棄物処理を行うとともに、近年のごみ搬入量の増加や施設の老朽化等に対応するため、新施設の改築計画に着手します。 ごみ収集については、ごみステーション化を促進するとともに、ごみの搬出が困難な高齢者等を対象に、「ふれあい収集」を実施します。

【CHECK (評価) 施策担当部長】

施策を達成 する上での 問題点・課 題	①可燃物、不燃物の排出量が増加傾向にあり、資源物の排出量が減少傾向にある。 ②不法投棄が多発する地域が一定せず、また、穴を掘って埋める、人目につかない谷底に捨てるなど悪質・巧妙化しており、全ての地域において十分な対策を講じることが難しい。
------------------------------	--

【CHECK (評価) 評価調整委員会】

--

【ACTION (改善・改革)】

問題点・課 題を踏まえ た施策構成 事務事業の 改善・改革 や新規事業 についての 考え方	①家庭系ごみ（集団回収支援等）・事業系ごみ（不適正搬入の監視及び指導等）への施策を実施する。分別方法の説明会開催など普及啓発活動によりごみの減量化を推進する。 ②警察、県央振興局、県央保健所との不法投棄監視合同パトロール、各地区の環境美化推進員との不法投棄監視合同パトロールを継続し、新たな不法投棄の発生を抑制する。
--	---

令和2年度新規事業

	事業名（仮称）	担当課	R2年度見込	
			事業費（千円）	対象・事業概要など
1	廃棄物リユース事業 （ごみ活用事業）	環境センター	88	みんなで育てる資源循環の「ミライ」のまちづくりを目標に、ごみの減量化、リサイクル率の向上を目的として廃棄物をリユース（再利用）し、障がい者に対しての理解及び社会参加促進のため、環境センターに持ち込まれたまだ使えそうな廃棄物を、市内の障害者就労施設に無償譲渡し、施設で修理清掃して販売する。 廃棄物リユース事業は、長崎県内でも初めての取り組みであり、市民・障害者就労施設・市が手を取り資源循環の気持ちを育て、人・環境にやさしいまちづくりをめざす。
2				
3				
4				
5				
			88	